



学校だより

東京都立府中けやきの森学園
〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1
TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476
<https://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp>
令和7年5月30日(金)発行 第3号

教育職を志す人材の育成について

副校長 法月 英里

本校では、教育職、医療職、福祉職を志す学生の方々、現職の医療従事者の方々を対象に、教育実習、インターンシップ、学校見学案内や学校概要の説明などを行っています。今年度も、杏林大学、慈恵会医科大学、明星大学、東邦歯科医療専門学校等を対象に、特別支援学校の理解を深めるための取組を行います。こうした取組によって、特別支援学校の教育活動への理解が進むこと、学生の方々の特別支援教育に携わる意欲の向上やキャリア形成に役立てることは、すなわち教育職を志す優れた人材の育成に貢献できることであり、それは私たち教員の切なる願いでもあります。

また、本校の教職員が、外部の方々に学校を御案内したり、学校の教育活動をわかりやすく説明したりすることは、教員として必要な力を付ける貴重な機会ともなっているということも実感しています。

変化の著しい社会だからこそ、私たち教職員は若い力を温かく育て、そのことにより自らも力を高めていきたいと考えています。学校見学会に参加した学生の方々を、新しい学校の仲間として迎える日もきっと近いと思います。

児童・生徒、保護者の皆様の御協力をいただきながら、教職員が互いに力を高め合い、よりよい授業を行うことによって児童・生徒の力を最大限に伸ばすことができるよう、これからも努めてまいります。

今年度の研究活動ーウェルビーイングを目指して

研究・研修部 指導教諭 田中 美成



昨年度に引き続き、「ウェルビーイングを目指したカリキュラム・マネジメント」が研究テーマです。左図のように、人権を尊重し、自立活動の指導を充実させた上で、児童・生徒が「学ぶ楽しさ」「活動する喜び」を味わうことができる授業を工夫し、主体的に自己選択・意思決定（「選ぶ」）できるように支援し、人・社会・未来につながる指導を目指します。

今年度は、教科等を合わせた指導（作業学習、生活単元学習、日常生活の指導など）を検討します。合わせた指導は、知的障害のある児童・生徒にとってとても重要な学びの形とされています。その授業ではどの教科のどの指導内容や自立活動などを組み合わせるのかを明確にすることで、授業の質を向上させていきます。

一方、肢体不自由教育部門の準ずる教育課程では、キャリア・パスポートの研究を進めます。キャリア・パスポートとは、児童・生徒が小学校から高校までの学習やキャリア形成を自ら記録するもので、成長を振り返り、自己実現につないでいくものです。未来へつなぐツールの一つです。

SDG s の取り組みについて

SDG s プロジェクト担当 主幹教諭 柳 明良

SDG s (持続可能な開発目標)に基づいた「けやきSDG s・堆肥プロジェクト～野菜くずの冒険～」に全学部で取り組んでいます。このプロジェクトは、環境に優しい循環型社会を目指し、児童・生徒に持続可能な考え方を育むことを目的としています。

肢体不自由教育部門高等部の生産園芸班では、野菜くずを使った完熟堆肥を作っています。その堆肥を全学部で共有し、野菜や花の種を植える活動を行っています。子供たちは、日々の水やりを通じて、植物の成長を見守り、自然とのつながりを感じています。自分たちが育てた植物が成長する様子を見ることで、食べ物の大切さや土の重要性について学んでいくことができます。このよう活動を全学部が協力し合いながら、実践的な学びを深めていこうと考えています。

このプロジェクトを通じて、子供たちは環境保護の大切さを理解し、持続可能な未来を築くための行動を学んでいます。今後は、野菜くずを持ってきてもらう活動を計画しています。保護者の皆様にも、ぜひこの取り組みに御理解と協力をいただきたいと思います。

交通安全教室について

生活指導部主任 主幹教諭 梅景 靖之

5月13日(火)から23日(金)の期間に(肢体不自由教育部門小学部は6月に実施予定です)、各学部で今年度も交通安全教室を実施しました。小学部では府中警察署の皆様から交通ルールや信号のない交差点での危険について、中学部では京王バスによるバスの乗り方やバスの運転席からの見えない場所などについて学びました。高等部では、小田急バス班と自転車シミュレータ班に分かれて、体験学習をしました。

昨年度に引き続き取り組んだ自転車シミュレータの安全教室では、実際の交通状況を再現し、運転時に起こりうる危険を体験することで、危険予測に対する意識を高めることができました。児童・生徒は真剣に自分の身を守る学習に取り組み、授業の最後には信号機やバスの前で記念撮影を行い、学習の中での楽しい思い出にもなりました。学校では引き続き、児童・生徒が安全に過ごせるよう指導してまいります。御家庭においても御指導をお願いいたします。来月はセーフティ教室を予定しております。今後も生活指導部の教育活動に御理解と御協力をお願いいたします。



知的障害教育部門小学部就業体験

知的障害教育部門小学部主任 主幹教諭 松島 宏樹

5月7日(水)に知的障害教育部門小学部5、6年生の就業体験で府中消防署朝日出張所に行ってきました。消防署の施設や救助の訓練を見学し、防火服を着る体験をさせていただきました。消防車に搭載されている道具をたくさん見せてくださり、子供たちからは「これはどうやって使いますか。」や「これは何ですか。」など質問をしていました。今回の体験をとおして、消防署で働く人の仕事や役割を知ることができました。



肢体不自由教育部門小学部低学年の教育活動について

肢体不自由教育部門小学部副主任 主任教諭 高村 祐美

11名の1年生を迎えた肢体不自由教育部門小学部では、5月7日（水）に「1年生を迎える会」を行いました。1年生は2～6年生の前で一人ずつ自己紹介をしました。教師と一緒に呼名への返事をしたり、好きなものを絵カードなどで発表したりすることができました。2・3年生は「ともだちになるために」の歌に合わせて手話や身振りでダンスをして発表しました。代表の児童が司会進行や始めと終わりの挨拶、プレゼント渡しの役割を担って活動することもできました。各学年で練習を重ねてきたことで、本番では自信をもって発表を行い、それぞれに「できた」「うれしい」という経験を実感することができました。1年生にとっては、大きな集団での活動でしたが、2・3年生の歌の発表に笑顔や発声、身体を揺らすなど、緊張することなく受け止め、楽しく参加しました。

普段とは異なる集団や場所での活動の中で積み重ねたことを励みに力を発揮し、達成感を味わうことができました。今後の学習の中でも、今回の「できた」「楽しかった」という気持ちをもとに、児童の自己肯定感を高められる指導を行っていきます。



知的障害教育部門小学部低学年の教育活動について

知的障害教育部門小学部副主任 教諭 有田 美弥子

今年度の知的障害教育部門小学部は、7名の1年生を迎えました。低学年の1・2・3年生で集まり、「1年生を迎える会」を行いました。会の進行やプログラム作り、部屋の飾り付けは上級生の2・3年生が担い、その日までに準備を重ねて、当日を迎えました。プログラムや飾り付けの仕上げをして、いよいよかわいい1年生が入場。2・3年生が歓迎のダンスをしたり、全員で楽しく「エビカニクス」を踊ったりしました。1年生は一人ずつ「あなたのお名前は？」の音楽に合わせて名前を呼ばれて、元気に返事をすることができました。最初はちょっぴり緊張した表情も見られた1年生でしたが、会が進んでいくにつれリラックスした笑顔も増え、最後の上級生からの手作りメダルのプレゼント贈呈の時間には「僕も欲しい！」と手を伸ばしてアピールする姿も見られました。

温かな時間が流れるのはあっという間で、これからの関わり合いも楽しみになるような会でした。今後も様々な教育活動を通して、「自分でやってみたい」と前向きな気持ちになれるような基盤を育んでいきたいと考えています。



お問合せ

御連絡は、下記までお願いいたします。

◇平日（午前8時30分から午後6時まで） 042-367-2511（学校の代表番号）